

ておめでとうございます 願いいたします



別海町長
曾 根 興 三

新年あけましておめでとうございます。
町民の皆さまには、令和4年の新春を健やかに
お迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、日頃から町政の推進に對しまして、
温かいご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し
上げます。

私にとりましては、町長就任後6回目の新
春を迎え、町民の皆さまのご支援の下、常に
皆さまとともに考え行動していくことを基本
として、生活の安定はもとより町民に優しい
地域社会の実現を目指して、お一人お一人が
自立して活躍することができるよう、行財政
の課題解決に取り組んでまいりました。

今後とも、初心を忘れることなく、皆さま
の代表として対話を大切にし、勇気と情熱を
持ち、私の町政に対する熱い思いである「子
育て世代への応援」「老後の安心」「活力ある
産業の維持」の3点を積極的に取り組んでま
いります。

さて、昨年を振り返りますと、新型コロナウ
イルス感染症の世界的流行により近代オリ
ンピック史上初めて、前年夏の開催日程から
延期され、8月に2020年東京オリンピック・
パラリンピックが開催されました。開會
式をはじめ、多くの競技が無観客での開催と
なりましたが、世界中の人々に多くの感動を
与えました。

終息の見えない、新型コロナウイルス感
染症につきましては、昨年7月以降の第5波に
より全国的に新規感染者が急増しましたが、
医療提供体制をはじめとする最大限の対策に
より、減少に転じました。

本町においても、町立別海病院の医師の皆
さま、多くの医療関係者、福祉関係者の皆さ
まの懸命なご努力をはじめ、危機感をもって
感染防止に取り組んでいただいている町民の
皆さま、事業者の皆さまのご協力の賜物であ
ると心から感謝を申し上げます。

昨年11月下旬には、変異株の「オミクロン

株」の感染者が国内でも確認され、今後の感
染が懸念されますが、町としては、国が進め
る3回目のワクチン接種の計画的な取り組み
をはじめ、福祉や医療、経済、教育等の面
でさまざまな施策を講じるとともに、関係機
関と連携を図り、気を緩めずに感染対策等に
取り組んでまいります。

町民の皆さまには、基本的な感染対策の徹
底を引き続きお願い申し上げます。

次に昨年における産業の情勢です。

まず主力である酪農畜産業は、町内の生
乳生産量が昨年1月から10月末で対前年比
102.1%の42万8千トンで年間50万トン
を超える見込みとなっており、生産額につ
いても増額となる見込みです。

水産業では、太宗漁業である秋サケ定置網
漁は、全体漁獲量としては前年の99%で、全
体金額では110%と、記録的な不漁であつ
た令和2年とほぼ同程度の水揚げで操業を終
えています。主要魚種の一つであります、冬
季ホタテ漁が昨年12月2日から始まり、今後
の漁獲量と価格動向に大いに期待している
ところです。

また、観光・イベントについては、新型コ
ロナウイルス感染症により、全てのイベン
トを中止したほか緊急事態宣言やまん延防止等
重点措置が行き渡りシーズンに発出され、人流が
抑制されたことにより、観光客の入込数は前
年と比較し減少となったところです。

今後は、べつかい宿泊割をはじめとする、
どうみん割やGOTOトラベルを利用した観
光客の入込みに期待を寄せているところで
す。

現在、堅調に推移しているふるさと納税に
ついては、これまで返礼品の確保にご協力を
いただいている生産者、加工業者の皆さまに
感謝を申し上げます。今後本町として、寄
付者が選択しやすい環境づくりを進めます。

スポーツの話題としては、本町出身のスピ
ードスケート選手の活躍ぶりに喜んでおりま

す。尾岱沼出身の新濱立也選手と上風連出身
の森重航選手が、2月に開催の2022年北
京オリンピックへの出場が決定し、西春別
前出身の郷重里砂選手と上春別出身の野々村
太陽選手の出場も予想されています。活躍さ
れることを期待し、全町を挙げて応援したい
と思います。

本町は昭和46年4月に町制を施行し、昨年
で50周年を迎えました。「別海町」を次代に
つなぎ、将来の発展を願い、今年の秋に記念
式典を挙行いたします。

この記念式典では、生涯学習センター「み
なくる」の落成式のほか、友好都市関係にあ
る大阪府枚方市、高知県四万十市、沖縄県名
護市の4市町が一堂に集う友好都市サミット
の同時開催により、この「みなくる」をシン
ボルに町の魅力を町内外に広く発信してい
きます。

さて、このような状況の中、行政運営の総
合的な指針である第7次総合計画も4年目を
迎えます。地域懇談会をはじめ多くの町民の
皆さまに協力をいただきながら策定したこの
計画を基に、さらに町民の声を反映し、行政
の推進と質の高い行政サービスを提供するよ
う努めてまいります。

私は、この計画において「人がつながり未
来につながる海と大地に夢があふれるまち」
「いつも心に広がるふるさとべつかい」をま
ちの将来像に掲げました。

この豊かなふるさと別海町を次世代へしつ
かりと引き継いでいくために「みんなであつ
なぐ実りあるふるさと共創プラン」を合言葉
に、町民の皆さまの参画・協働の下、行政が
一体となって進めてまいれる所存であります。
どうぞ、より一層のご支援とご協力を賜りま
すようお願い申し上げます。

結びになりますが、新しい一年が、町民の
皆さまにとりまして、希望に満ち、健康で笑
顔あふれる年となりますよう心からお祈り申
し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



別海町議会議長

西 原 浩

町民の皆さま あけまして 本年もよろしくお

あけましておめでとございます。町民の皆さまにおかれましては、輝かしい新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

また、日頃から町議会の活動への温かいご支援とご協力に、議会を代表しまして厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、令和2年初めて新型コロナウイルス感染症の感染者が日本で初めて確認されてから2年が経過しました。国内ではワクチン接種が進み、本町でもワクチン接種率が対象者の90%を超えたなど、その効果もあり第5波も峠を過ぎたと感じています。しかし、新たな変異ウイルスの出現により警戒と不安が全世界に広がっており、人類の英知を集結して早期に収束することを願っているところです。

一方、自然災害に目を向けますと、7月に静岡県や神奈川県を中心に大雨が降り72時間雨量で800ミリを超え、熱海市では土石流災害が発生しました。また、8月には停滞する前線の活発化により、九州や北陸、中国地方をはじめ各地で断続的な大雨が続き、佐賀県や長崎県では河川が氾濫するなどの災害が発生しています。自然災害で被災された方々に、謹んでお見舞い申し上げますとともに犠牲になられた皆さんに哀悼の意を表したいと思います。

スポーツにおいては、延期になっていた東京オリンピックが7月23日に開幕しました。新型コロナウイルス感染症対策のため、ほとんどの競技が無観客での開催でしたが、日本選手の歴代最多のメダル獲得は大きな喜びと希望・夢を与えてくれました。また、パラリンピックでは多様性と調和を表現した開会式や競技に感動と学びを感じたことと思います。

本年2月には中国で冬季北京オリンピック

フが開催されます。スピードスケートで、本町出身の新濱立也選手と森重航選手の出場が決定し、郷里砂選手と野々村太陽選手の出場も予想されています。その活躍を大いに期待しているところであり、町民の皆さんと応援することを心待ちにしているところです。

さて、我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が徐々に緩和されつつあるものの、持ち直しの動きに弱さが見られるとされています。政府は経済を成長軌道に乗せるため「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」を閣議決定し、円滑かつ着実に実行するとしています。先行きは不安と言わざるを得ません。

北海道においても、緊急事態宣言の解除により景気の持ち直し基調に転じると予想しており、国内外経済や企業収益の回復、雇用・所得情勢の改善など個人消費や移輸出などの増加が予想されています。しかし、新たなコロナウイルス変異株の出現などにより、落ち込んだインバウンドに回復の兆しはなく、観光業がさらに厳しい状況になることが考えられます。さらに原油価格の高止まりで家計負担の増加が見込まれ、経済成長に水を差す原因となることが予想されています。

本町においても、新型コロナウイルス感染症の影響は多大であり、国の緊急経済対策や町の支援策などを講じてきましたが、飲食業や宿泊業の売り上げの落ち込みは未だに厳しい状況にあります。今後、あらゆる諸課題が基幹産業や財政運営に大きな影響を及ぼすことは明らかであり、産業振興や町民福祉の向上を図るために、増大する行政需要に対してどのように対策を取るか、極めて難しい現状になっているものと言えます。

令和元年に策定した「第7次別海町総合計画」は4年目を迎え、議会としても計画を実現するため、議会の果たすべき役割と責任を自覚し、皆さまの声を町政に反映し、住んでいて良かったと実感できるまちづくりに議員一同全力で取り組みを進めていかなければなりません。

昨年9月の定例会では、念願であった「別海町議会基本条例」を制定しました。会議運営と町民参加を示した「わかりやすい議会」、議員間討議と委員会活動を示した「結果を出す議会」、情報共有と議会活性化を示した「開かれた議会」、政策形成と議会機能の強化を示した「行動する議会」の4つの理念を基本として、この議会基本条例を具現化するために議員一同まい進する所存でございます。

当議会では委員会調査の強化と迅速な情報共有を進めるためにタブレットを導入し、それを活用してオンラインでの委員会開催やオンライン会議などに取り組みました。

また、昨年は新型コロナウイルス感染症の影響により「地域めぐり懇談会」はオンライン形式という新たな方法で開催しました。たくさんの方と意見交換ができたことは残念ですが、今後も町民の皆さまのニーズに寄り添い、時代に即したさらなる取り組みを進めてまいります。

別海町議会として、住民の皆さまとともに歩む議会を目指し、議員全員で力を合わせて取り組んでまいりますので、どうか本年も一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和4年は経済が再生され、町民の皆さまにとって輝かしい飛躍の年となりますよう心からご祈念申し上げ、新年のあいさつといたします。